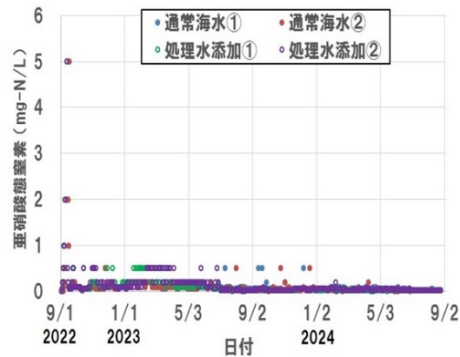
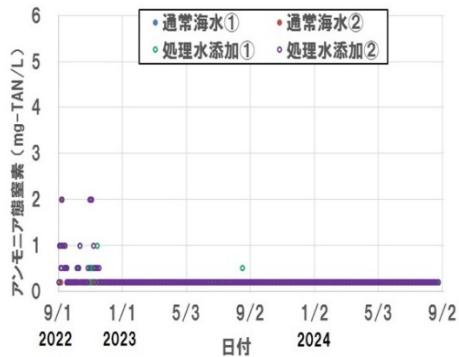
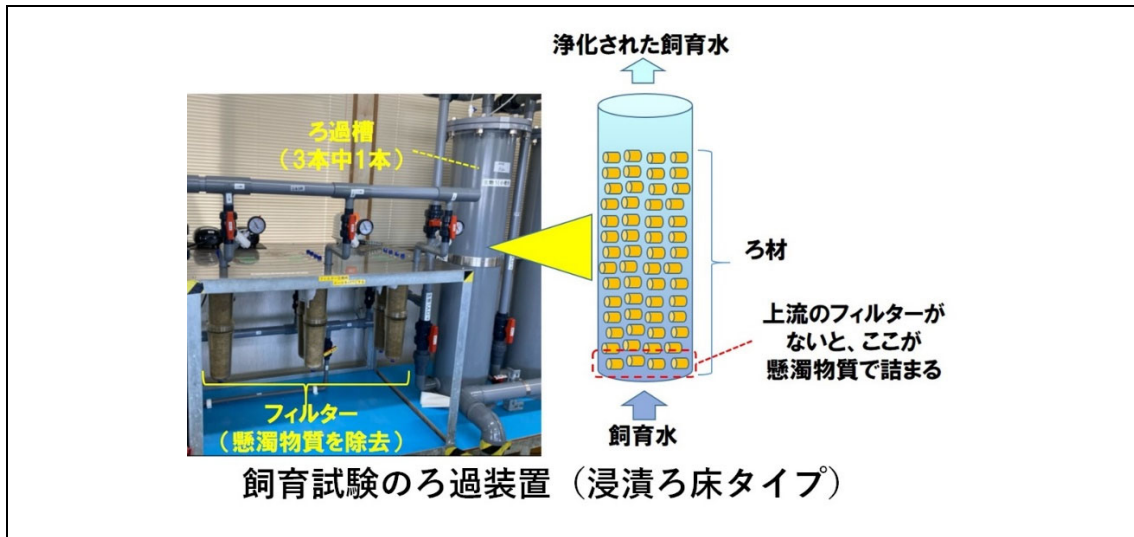


2024年9月24日 9時

天気 晴

水温 18.4℃

飼育試験装置ではフィルターでの懸濁物除去により槽内が詰まりづらいことから浸漬ろ床（タイプ①）を採用しています。トリチウムが蒸発しないよう、密閉した容器の下方から飼育水を送り込みます。飼育試験でのアンモニア除去効果は良好です。（F）



※初期の高濃度はヒラメ収容前(硝化細菌のエサとして塩化アンモニウムを投入)

飼育試験におけるアンモニア(左)・亜硝酸(右)濃度